

☆地域協議会だより☆

第5回地域協議会は、平成29年3月16日(木)午後2時から二ツ井町庁舎2階大会議室で開かれました。案件は、「委員提案について」と「道の駅ふたつ井整備事業について」の2件でした。概要については、次のとおり。

委員提案について

二ツ井町庁舎の活用について

【3階旧議場】
図書館として活用し、地域の情報拠点として、利用実態の把握に努め、幅広い蔵書や図書資料の充実を図る。議員控室や会議室等の空室を、利用目的に合わせ安全・安心に利用できるような環境整備を行うこと。
【1階旧食堂】
来庁者の憩いの場となるような喫茶スペースとしての活用。



第5回地域協議会の様子



身近な問題・課題について

- 【①基幹産業としての農林業の振興】
・農業法人による休耕田の活用。就農支援や移住促進の体制づくり。
・林業法人を組織し、造林業の技術者育成、計画生産の体制づくり。
- 【②高校生までの医療費無料化】
・福祉医療制度について、三種町、八峰町に続き29年度から藤里町も高校卒業まで医療費を無料化としている。能代山本3町に能代市が立ち遅れている状況。子育て世代の経済的負担軽減が絶対が必要。
- 【③雇用場の創出、企業誘致等】
・閉校した小学校の跡地に企業誘致し、地元雇用場の作ってほしい。
・森林管理署関係、木工研究所などを二ツ井地域に誘致し、農業法人を立ち上げ特産物を作る。
- 【④二ツ井の特産品開発への体制づくり、技術者育成】
・特産品開発等、商品化までの指導する技術者育成の為の体制づくりを、市主導で人材確保などバックアップしてほしい。

二ツ井町庁舎の活用について

図書館メインでいいと思うが、ただ図書館として使うだけでなく、二ツ井町庁舎を「わのまち能代のオアシスの場所」として利用してはどうか。学ぶ、健康、子育て、憩いの場としてはどうか。
二ツ井公民館に図書室が無くなると利用者が不便になるのではないかと。将来的な事を考えると二ツ井町庁舎まではバスは必ず来るし、いい提案だと思う。二ツ井公民館には近くに二ツ井中学校もある。庁舎まで来て利用する人が果たしているかどうか。今の場所が利用しやすいのではないかと。
「学ぶ」という考えに沿って考えると、多方面に知識を得られる図書館になると考えれば、図書館としての提案でいいと考える。

身近な問題・課題について

農林業の振興について。今一番の問題として後継者不足がある。いかに地元の良さを活かしていくか。大きな規模で会社組織にしたものでなければ農業は将来的に成り立たないと思う。行政主導で将来的な農業政策を考えてもらいたい。
今後新しい道の駅も出来る。益々法人の代表者を集めた情報交換の場が必要と考える。
高校生までの医療費無料化について。能代山本の3つの町で実施している事を能代市に無いというのが残念に思う。今すぐ予算化して欲しいという事ではないが、次年度予算編成の時には是非検討していただきたい。
医療費無料化と併せて、給食費に対する助成も是非お願いしたい。経済的負担は大きいと考える。全額が無理であればせめて半額でも助成が必要ではないか。
二ツ井の特産品開発への体制づくりについて。二ツ井地域の名物・ブランド品が必要で、せっかくいいアイデアが出て商品開発する人がいない。必ず人材育成が核になる。商品開発の専門的知識のある人材を行政側でも考える必要があるのではないかと。

※裏面は「道の駅ふたつ井整備事業」について

【地域協議会委員】
淡路一義 伊藤 誠
大高吉定 岡 大右
菊地チヨ子 菊池敏幸
佐藤哲美 中村清二
成田光博 島山博嗣
島山美紀子 藤田清樹
藤田千秋 藤田弘子
吉岡正雄 (五十音順)

発行：二ツ井地域局
総務企画課
〒018-3192
能代市二ツ井町字
上台1-1
電話 0185-73-2112

H29.4.25発行

委員からの主な意見

道の駅ふたつじ整備事業について

新たな道の駅の管理運営体制構築のための管理運営計画(案)について、26年度に策定した基本構想及び基本計画に基づき、道の駅運営検討委員会での協議や議会等のご意見を踏まえ、左記内容について事務局から報告がありました。概要は次のとおり。

事業の進捗状況について

道の駅本体の建築主体工事は、3月議会での議決を得て本契約の締結を行う予定。建設工事については、落札者決定後、速やかに契約手続きを進めたい。

外構工事は、国土交通省が工事を施工し、2年計画で盛土工事を進めており、29年度の盛土完了時期に合わせて外構工事の発注手続きを行う予定。

川の駅関係については、1月18日に、かわまちづくり計画の登録申請を国交省に提出し、3月7日に登録され、29年度から新たな道の駅の米代川沿いの河川空間での事業が一体的に進められる事になる。



川の駅整備イメージ

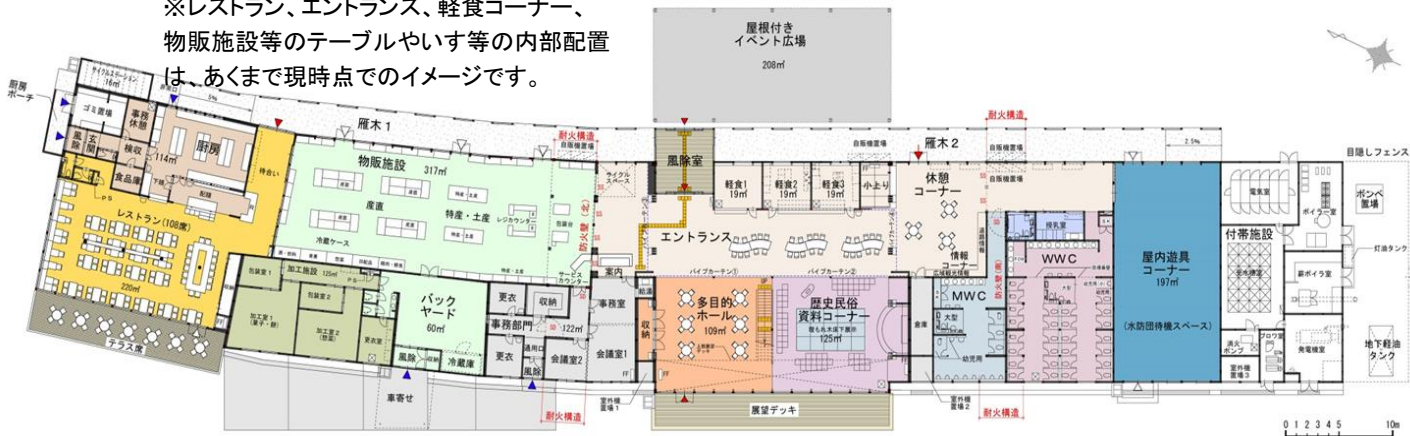
道の駅ふたつじ整備事業 管理運営計画(案)

- 1 立地特性
- 2 移転整備のコンセプト
- 3 マーケティング調査
- 4 施設の機能・内容等
- 5 施設整備
- 6 管理運営
- 7 施設別管理運営方式
- 8 売上予測と収支シミュレーション
- 9 地域との連携方針
- 10 事業スケジュール



外観イメージ

※レストラン、エントランス、軽食コーナー、物販施設等のテーブルやイス等の内部配置は、あくまで現時点でのイメージです。



建築平面図

- 【レストラン】
 - ・レストランの形態に応じて、フレキシブルに対応可能とする。
 - ・抜群の景観を十分堪能できるレストランとする。
- 【エントランス・軽食コーナー】
 - ・気軽に集い、共有しやすい雰囲気とする。
 - ・軽食コーナーは形態に応じてフレキシブルに対応可能とする。
- 【物販施設】
 - ・物販施設のレイアウトは、3列にレイアウト可能。
 - ・イベント時や旬の時期には、エントランスや雁木を活用して商品を陳列することも可能。
 - ・物販施設とレストランの間は、可能な限りオープンなつくりとする。

委員質疑と回答

(質疑) 工事はいつからか。

(回答) 道の駅の建築主体の工事は4月予定。予定として平成30年3月30日までの完成を目指して進められる。この他に外構工事については、現在盛土工事を進めており、29年度にもう半分が盛土工事され、その完成を待って10〜11月頃から外構工事が始まる。

(質疑) 指定管理者の選定はいつ頃か。

(回答) 指定管理者選定の前に、道の駅本体の設置条例の整備が必要であり、29年度に入ってから条例制定に向け検討を進める。30年度早期のオープンを目指しており、それに向けた運営会社の設立準備が進められているが、オープン時期から逆算すると、運営会社は9月頃までの設立が必要と考える。その後、市の選定委員会で審査し、指定管理者候補として進める事になる。